

新庁舎建設町民説明会 要旨

日 時 平成 31 年 2 月 16 日（土） 10：00～12：05
 場 所 町民温水プール 多目的ルーム
 参加者 21 名
 町 村田町長、府川副町長、黒石政策担当参事
 事務局 企画政策課 4 名

概要

1. 開 会
2. 町長あいさつ
3. 二宮町役場新庁舎建設基本構想・基本計画（案）の説明
4. 質疑

参加者	町長から「分かりやすい言葉で」という話があったが、最後の事業計画の部分が素人には分かりにくかった。もう少し噛み砕いて説明してほしい。
事務局	<p>33～34 ページで概算事業費の合計を示しているが、地方債とは町が借り入れる借金にあたるもの。今回の事業で必要となる借入金が約 19 億円。次に、基金繰入金とは貯蓄であり、4 年間で毎年 8,500 万円ずつ貯蓄をする。一般財源はその年ごとに必要な経費となる。</p> <p>市町村役場機能緊急保全事業とは、事業費の約 90%は借入ができることとなっているが、基金と一般財源を活用しながら 90%まで借金をするのではなく、全体事業費の 75%の借入を行っていくことを考えている。交付税は、国から町に対して交付されるお金であり、資金の補填の部分になる。この交付税は事業費の 75%が対象となり、その内の 30%が国から交付される。90%まで借入した場合、差額の 15%部分は戻ってこないため、75%まで借り入れることが、財政的には一番有利になる。</p> <p>借入総額の約 19 億円を、20 年で返済すると約 9,700 万円、30 年で返済する場合には約 2 億 8,000 万円が利息額と試算している。20 年の場合には、毎年約 1 億円の返済となり、その内約 3,000 万円が交付税として戻ってくる計算になるため、実質負担額が約 7,000 万円となる。30 年の場合には、毎年約 7,300 万円の返済となり、その内約 2,200 万円が交付税として戻ってくる計算となるため、実質負担額が約 5,100 万円となる。</p>
参加者	現在国も多額の借金がある中で、自転車操業的にずっと借金があり続けるということは健全なのか。
事務局	一時的には 90 億円規模の借金とはなるが、現在も毎年 6～7 億円の返済をしており、返済額が極端に増加するわけではなく、町財政に過度な負担を与えることにはならない。市

	町村役場機能緊急保全事業は有利な制度であり、負担の平準化ができる。
参加者	住宅ローン控除のようなイメージかもしれないが、人口が減少していく中で、借入額がもう少し小さくならないと、借金だけ今と変わらないということはとても不安を感じる。借金を現状ベースで試算するのではなく、もう少し負担が軽くなるような計画の方がよい。

参加者	<p>市町村役場機能緊急保全事業で、交付税措置対象額の 30%を基準財政需要額に算入すると書かれているが、このすべてが交付金になるわけではないと思う。理論値とは書かれているが、今までの交付税を見ても全ては戻ってきていないので、改めて説明願いたい。</p> <p>地方債の残高予測について、人口減少の中、借金を減少しなければならないのに、平成 30 年以降も残高が減っていかない。</p> <p>新庁舎建設後、メンテナンスやランニングにもコストが掛かるものをどう考えているのか。まちづくりの拠点や防災拠点と掲げているが、備蓄関係も足りていない。もともとは公共施設再配置で整備していく話だったと思うが、統廃合するためにも費用が掛かる。地域拠点が機能しなかったらどうになってしまうのか。地域拠点の整備ではなく、新庁舎の整備を先に行うのか説明してほしい。</p>
事務局	<p>交付税については、分かりやすい資料とするために理論値としている。基準財政需要額とは一般的な町民サービスを維持していくための経費として、全国的に基準が決まっているもので、自主財源で不足する部分が国から交付されるものである。30%が全額戻ってくるものではないということは確かにそのとおりである。</p> <p>今回の計画で示している新庁舎の規模は、分散している行政機能を集約することとしているため、現庁舎より延床面積は大きくなるが、全体的に見ると特別大きな建物とは認識していない。今後の人口減少は見据えていかなければならないが、現状の町民サービスを向上させていくため、行政機能の集約を進めていきたい。維持管理の面については、現庁舎は老朽化が進んでおり、設備も古いため、維持管理費が高額になっている。高効率機器を導入しながら、維持管理費の抑制を目指す計画としている。防災計画の自助、共助、公助について、町が責任を持って考えなければならない部分は公助であり、新庁舎整備は、耐震性が不足している現庁舎で、過去の大地震において、耐震性不足の庁舎が崩れ、防災拠点として機能しなかったことに危機感を感じ、昨年度調査した結果、ラディアン周辺に移転すべきであるという結論を出した。</p> <p>耐震化未実施の地域集会施設があることは承知しており、課題と捉えているが、全ての地域集会施設を整備するわけではないことをご理解いただきたい。地域集会施設は、今後どのようにしていくかを地域へ投げかけしているので、並行して進めていく。</p> <p>地方債の残高予測については、借金が全くない自治体はおそらくない。ある一定の地方債の残高はあっても、特に建設事業などの必要な事業は起債しながら運営している。公共施設はその時の住民だけが利用するものではなく、将来にかけて公平な負担をしていただく必要があることから、20 年、30 年の返済計画を立て、その時々にお住まいの方、利用する方などに平等に負担をしていただくという観点から、地方債という制度があると</p>

	認識している。二宮町では近年 70～80 億円の残高となっているが順調に返済されている。ただし、これ以上借り入れできないという上限もあるが、二宮町としてはまだまだ達していないのが現状である。
参加者	役場は学校や福祉施設と違い、行政が公務を行う建物である。その中で、本当に住民が望む施設なのか。集約化することが町民サービスの向上に寄与するとあったが、技術革新が進めば役場に行かずともいろいろなことができる時代になる。その中で、地域集会施設はとても重要であるため、検討していくべきである。 また、将来にかけて利用するから借金をすると説明があったが、役場庁舎に掛かる費用を我々の子ども達が負担していくことに賛成する人はいるのか疑問である。

参加者①	新庁舎建設のきっかけや前提は理解した。職員の命はとても大事であり、同時に町民の命は大事である。現庁舎が危険なのであれば町民センターも危険だと思うが、町民センターも併せて移転するものと普通は考える。 地域の拠点は公共施設再配置で検討しており、これからと言っていたが、町全体の安全性や対応を考え、それも含めた財政見通しを示すべきではないか。庁舎の計画と併せて、公共施設全体の安全性について、考え方も出さないと町民は判断できないし、納得しない。
事務局	町民センターに関しても耐震性が不足しているという調査結果は出ているため、対応は考えていかなければならないが、現時点で即機能停止することは考えていない。地域の拠点は、拠点の在り方について、地域と協議をしていかなければ進まないものであり、これから地域との協議をスタートしていくことになるため、具体的なものは現状ではお示しできない。
町長	町民センターは不安に思う部分も当然あると思うが、駅前町民会館の閉鎖と同様に、早めに考える時期にきているため、いずれかの時期で判断していく。
参加者②	優先順位の話をしている。全体が全然見えない。庁舎について、対応を考えているが、それだけではない。
町長	優先順位を定め、対策を考えていきたい。町民センターは公共施設再配置の中で順次考えており、地域集会施設は、次年度から地域の在り方と併せて統廃合も検討していく。
参加者①	やり方ではなく、新庁舎建設という大きな事業に対し、他の公共施設も含めて課題が山積している。庁舎が具体的になった今、全体の公共施設はどう考えているのか示してもらいたい。公共施設の安全性をきちんと考えて方向性を示すことが行政の役割であり、まちづくりの計画である。
町長	それについては、公共施設再配置で順次取り掛かるという計画である。
参加者①	それを庁舎建設と併せて示すべきだ。この説明会で見せてほしい。
町長	本日は新庁舎建設基本構想・基本計画（案）について、説明をする趣旨で開催した。他の公共施設についても別途説明してほしいということであれば、きちんと時間をとる。
参加者①	町民からしたら別々のものではない。
町長	承知したが、今日のところは公共施設再配置の計画をこの場で説明するというのではなく、まずは新庁舎建設基本構想・基本計画（案）を理解してもらいたい。既に公共施設

	再配置の計画は策定してあるため、ご覧になっていただきたい。
参加者①	町民感覚としては別々ではない。町全体の公共施設について見えず、新庁舎の説明を受け理解してほしいと言われても、そうはならない。
町長	まずは新庁舎建設基本構想・基本計画（案）にご理解いただき、別に公共施設全体の計画は策定済みのため説明はしていく。
参加者②	単独でやっても理解できない。
町長	全体の中では、一つひとつを具体的に進めていくことも必要ではないか。学校なども含め、すべてが明確になるまで何も動かせないということではない。優先順位をつけ、課題をクリアしていくための説明会と理解していただきたい。
参加者①	誤解されないよう、町民センターも含めた公共施設の考え方を示したうえで、町民を安心させるように改めて説明や提案はされるのか。
事務局	今後 10 年間の公共施設再配置・町有地有効活用実施計画は既に策定されており、その中に町民センターや地域集会施設なども位置付けがあるため、それと新庁舎の計画を一体的に示すことは可能である。
参加者③	庁舎の概算事業費を公表し、実施しても他の公共施設に十分充当することが可能であるということが分からないと、新庁舎の事業を進めて大丈夫なのかと町民は心配している。そこについては、町長が「大丈夫」だと説明していただきたい。
町長	今までも、大型事業は集中しないように平準化を図りながら計画的に取り組んできている。今回お示しした資料も大規模改修等を見込んだもので財政見通しをシミュレーションしている。

参加者	今回の全 3 回の説明会の目指すゴールはどこか。
町長	新庁舎建設基本構想・基本計画（案）についての理解をより深めていただき、いただいた意見を受け止めて反映させるためにこの機会を設けさせていただいた。
参加者	町にはもっとたくさんの住民がいるが、この 3 回の説明会で皆さんの声が聞けると思っているのか。
町長	町民の方が参加している検討会やパブリックコメント、直接対話できる説明会の開催や、無作為で町民アンケートを実施し、様々なところから様々な形で意見はいただいている。それに限らず、手紙や電話など、いつでも受け止める体制は整えている。
参加者	この説明会が開催されることを知る機会がなかった。広報紙は緊急性がないと思っており、緊急性があるものは封書や回覧で来るものだと思っている。どの程度の町民が認知していると認識しているのか。町民の何%が基本構想・基本計画（案）に目を通していていると考えているのか。町長が把握していないようなので、そこが問題だと思う。 ハコモノを造ることにはいろいろな理由があると思うが、誰にメリットがあるのかが見えない。非常に段取りが悪く、コミュニケーションもとれないのが二宮町職員の印象である。きれいな箱ができたからといって、コミュニケーション力がアップするとは思えない。具体的な数字の目標をもって動くべきではないか。 費用面や造るものが最終的に確定する目標はいつなのか。今日皆さんから出された意見

	はどのように反映され、反映されたものはどのように町民に示されるのか。
事務局	基本構想・基本計画（案）では、新庁舎建設位置や規模を決めていきたい。平成 31 年度の基本設計において細かい機能も含めて検討していくことになり、実施設計では、基本設計で具体的に検討したものを金額として積み上げていくことになる。平成 33～34 年度に建設工事を行い、平成 35 年度に供用開始することが現在のスケジュールとなっている。今回いただいたご意見等をふまえて、町としてできるものできないものを判断しながら、基本設計の中で反映させていくことを想定している。
参加者	平成 33 年 4 月に、具体的な金額が示されるということか。
事務局	金額については、最終的に積み上げていって確定するのは、平成 33 年 4 月になると想定している。
参加者	このタイミングで基本設計の前段階を決めたいと言っていたが、そうなのか。
事務局	今回の説明会で基本構想・基本計画（案）について説明し、建設位置や分散している行政機能を集約することを町として提案しているので、その辺りを決めていきたい。
参加者	基本構想・基本計画（案）の（案）が取れる日付を教えてください。
事務局	今のところ、今年度末で（案）を取っていきたいと考えている。
参加者	どういう手続きがあって（案）が取れ、町民に通知されるのか。（案）が取れるまでのステップを教えてください。
事務局	説明会、町民検討会、パブリックコメント等でいただいたご意見もふまえて、町として基本構想・基本計画に反映して（案）を取ることが 3 月になるため、その時点で改めて広報等を含めて周知していく。

参加者	面積について、庁舎単独で建替え場合、1,000 ㎡の開きがあるのはどういうことか。パブリックコメントや検討会の中で、どのような意見が出されて、それに対して町がどのように検討を始めているか何も答えていないまま（案）が取れていいのか。検討結果をふまえて、（案）を練り直す必要があると思う。練り直した（案）に対して再度説明や意見を聞く機会を設けないといけない。町のはすべて町民の財産である。町民のお金がつぎ込まれるからには、丁寧に町民の意見を聞く機会を作るべき。急ぎすぎているのではないか。10 年、20 年後のビジョンがまったく見えない。公共施設の再配置とリンクして庁舎も考えていかないと、町民は納得できない。（案）を取るのは早すぎると思うが、もう一度練り直すことは可能なのか。
事務局	面積について、現庁舎の 3,200 ㎡の中では全職員が執務を行っているわけではないため、国が示している職員一人当たりの必要面積に全職員数を乗じ、共用部分も含めて 4,400 ㎡と算出したものである。このため、庁舎単独と比較した際の差分が生じている。パブリックコメントや説明会での意見については今後公表していく予定であり、それに併せて町の考え方も示していく。それを踏まえて基本構想・基本計画（案）も修正し、反映できるものもあればできないものもあるため、その理由も含めて公表していく。町として検討した結果、修正を行ったものを 3 月末に公表することになる。町民の方の意見を聞く機会を増やすべきというご意見については、基本設計に入ってい

	く段階での町民の皆さんとの対話の仕方については今後検討していきたい。 町債残高の推移については、すべてを見込んでの将来予測はできないが、現状で把握できる範囲のもので、環境衛生センターの改修やラディアンの大規模改修などは組み込んでシミュレーションしている。
参加者	パブリックコメントや町民検討会での意見結果を町民に報告する前に（案）を取るのか。年度末までの1か月半の間に意見結果は町民に示してもらえないのか。町としての方向性は示さないまま（案）は取れてしまうのか。
事務局	説明会、町民検討会、パブリックコメントなどのすべての意見をふまえて町の方向性や考え方を示しながら、基本構想・基本計画（案）を修正し、（案）を取る流れである。
参加者	先日の町民検討会の中でも、耐震、免震しか示されておらず、制振についてはまったく議論されていない。比較検討した結果、免震が一番安全だから免震にしたという報告だけしかされておらず、検討の経過がまったく見えない。なぜ、突っ込んで調べることをしないのか。金額に表れることなのに、構造について職員だけで決めることなのか。なぜ耐震や制振ではなく免震なのかを明示してもらうことはできないのか。
事務局	町としてこの基本構想・基本計画（案）では免震構造を提案しているが、これには安全性を第一に考えお示したものである。構造については、町民検討会でも同様のご意見があり、決められないという議論であったと認識している。パブリックコメントの中でもそういったご意見があったため、免震構造と決めつけているわけではなく、様々なご意見をいただき検討したうえで、町として最終的な判断はしていきたい。

参加者	借金を背負う子ども世代への説明はいつ、どのようにするのか。
事務局	今のところ考えていなかったの、そこも含めて考えていく。
参加者	そこは余興的に考えない方がいいと思う。
町長	この場も年齢制限はないので、学校が休みの土日に開催している。
参加者	そもそも説明会を開催すること自体を小学校に周知しているのか。情報提供なされていなければ子どもも来ようが無い。町でも町民がどのくらいこの基本構想・基本計画（案）に目を通しているか把握していないと思う。この基本構想・基本計画（案）を認知している町民が何%いるのか、目標を設定し、アンケート調査でその目標に達していなければ、あらゆる手を尽くして、認知してもらうようにしてほしい。現状では、町が真剣にコミュニケーションをとろうとしているようには見えない。目標設定、アンケート調査、目標に達していなかった場合の再度の説明会を求める。
事務局	説明会や情報発信の機会が足りてなかった部分があるため、ありとあらゆる媒体を使って周知は強化していく。また、町が主催する会議の場なども利用し、限られた時間ではあるが、できるだけ多くの方に基本構想・基本計画（案）を認知してもらうよう努めていく。

参加者	新庁舎は必要ないのではないかとという考えに傾いている。（案）自体を延期にしたらいのではないかとと思うが、そのためにはどうすればいいのか。
事務局	基本構想・基本計画（案）で全てが決まるわけではなく、次のステップに進むための計画

	であると認識している。先程も説明した、建設位置と規模については具体的になってきているので、決めていきたい。機能や設備の面を具体的に決める次のステップに進んでいくために（案）を取りたいと説明したが、（案）を取らないための方法をどうすべきかは分かりかねる。町としては3月末には（案）を取り、次のステップに進んでいきたい。
参加者	この計画自体を中止にする方法はないのか。
事務局	現時点のスケジュールでは、町としては3月には（案）を取って次のステップに進んでいきたいという考え方ではあるが、どこまで反映させていくかを考えていきたい。
参加者	そうすると、この（案）は決まっています、あとはレールに乗って進んでいき、町民の意見は反映されずにそのまま（案）を取るという考え方でいいか。延期する方法はないということか。
町長	この基本構想・基本計画（案）はここ数か月で出しているものではなく、順序立てて検討してきたものであるため、町としては3月末で基本構想・基本計画を策定し、次のステップに進んでいきたいという考えである。ただ、皆さんからいただいた様々なご意見はしっかりと受け止めて、それを盛り込んだものを示していきたいと考えている。

参加者	町長の受け答えが、町民の意見を聞きたくて説明会を開催しているのかまったくわからない。これで納得してほしいのであれば納得できるだけの回答がほしい。残り2回の説明会の中で、今まで出された意見に対する回答の仕方の変更や修正は考えているのか。
事務局	今回が初回の説明ということもあり、淡々と進めてしまった部分もあるため、ご理解いただけないところも多々あったかと思うが、いただいたご意見についてはきちんと受け止めて、次回以降で修正や付け加えられる部分を加えながら丁寧な説明に努めたい。
参加者	そうだとしたら、公共施設再配置の全体像が見えないとイエスともノーとも言えない。午後の説明会で全体像の説明はできるのか。
事務局	資料を用意するには間に合わないが、公共施設再配置・町有地有効活用実施計画で位置付けられている全体像について併せて説明するよう努める。

参加者	町役場が新しくなって便利になるのはいいが、この辺りで地震被害があったのは関東大震災であり、大地震が起こる周期は90年から100年の間と言われている。現在80年から90年程が経っているので、今のままジタバタしていると間に合わなくなる。
事務局	そういう面も考慮しながら、スピード感をもって新庁舎を整備するよう取り組んでいるため、ご意見として受け止めさせていただく。

参加者	本日の資料は官公庁の目線からのみの計画（案）ではあるが、関係職員の方が大変苦労して準備されたことに敬意を表する。 町役場や関連建物のみではなく、コスト削減のために民間大手不動産企業とのセッションを考えてはどうか。また、建設タイミングについて、東日本大震災への復旧や来年に迫っているオリンピック・パラリンピック関連の建設工事が重なっており、新規工事への見積額は高騰している。人手、資材不足により、現在待機している工事もたくさんある
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>ため、しばらくは建設コストが高い時期が続くと予測されている。このようなことから、計画全体を3~4年遅らせることができれば、安いコストで建設することができるのではないか。</p> <p>町には高さ制限があるが、その高さ制限を改正し、現在より高い建物が建設できるようにすれば、民間企業とのコンセッションも大幅に前に進むのではないかと思う。これについて、回答は求めない。</p>
事務局	今後の検討の参考とさせていただく。

事務局	本日いただいたご意見は、町の考え方、方向性をきちんと示し、町民の皆さんにわかるような形で公表していく。
-----	-----------------------------------------------------

新庁舎建設町民説明会 要旨

日 時 平成 31 年 2 月 16 日（土） 14：00～16：25
 場 所 町民センター 大ホール
 参加者 77 名
 町 村田町長、黒石政策担当参事
 事務局 企画政策課 4 名

概要

1. 開 会
2. 町長あいさつ
3. 二宮町役場新庁舎建設基本構想・基本計画（案）の説明
4. 質疑

参加者	先日の町民検討会において、なぜ本日の資料のような具体的な数字を提示しなかったのか。
事務局	長期的な財政予測を含めて、第 3 回の会議においてお示しした。
参加者	耐震や免震に掛かるコストの部分は、町民検討会では示されていなかった。構造を判断するための材料が無かった。
事務局	本日の資料は、基本構想・基本計画（案）の冊子から抜粋した内容を説明している。

参加者	返済計画はわかったが、財源が無ければ何もできない。今後の税収がどう変化していくのか予測した表を提示してほしい。
事務局	資料としては用意していないが、一定の条件のもと試算した長期的な財政の見通しでは、歳入と歳出も検証している。人口が減少していけば税収も減少していくが、国からの交付税等も含め、一定の水準で町の財政規模は推移すると予測している。平成 30 年度一般会計の当初予算は 76 億円だが、2050 年には 70 億円規模に減少していくと推計している。平成 30 年度の町税を主とした自主財源は約 41 億円で、30 年後の自主財源は約 31 億円まで減少する。交付金や町債を含めた依存財源は、平成 30 年度が約 35 億円で、30 年後が約 40 億円になると予測しているため、町の財政規模は縮小していく財政計画になる。

参加者	平成 31 年度から 35 年度にかけて支出が集中しており、5 年間で庁舎建設だけにかかる負担が 2 億 1,400 万円位になる。一つひとつがバラバラの情報で分からない。一目瞭然で分かる資料が提示されれば、議論がスタートできるため、そういう資料を出してほしい。経常経費に充当する一般財源はたくさんあるが、残りはこんなにはない。少ない一般財源
-----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>で平成 31～35 年度で毎年 2 億円以上の支出することは、他の事業に影響すると思うが。新庁舎が防災拠点になるということがよく分からない。司令塔の機能は大切だと思っているが、職員だけでは何もできない。町民との連携が大切であるため、地域拠点も整備されていなければならない。市町村役場機能緊急保全事業の要件に公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づく事業と書かれており、町民は他の公共施設がどうなっているのか関心があるため、分かりやすく説明してもらいたい。</p>
事務局	<p>財源内訳について、資料が分かりにくいという点に関してお詫びする。</p> <p>主に一般財源の話であったが、平成 34 年度に 1 億 7,000 万円、平成 35 年度では 1 億 1,000 万円の一般財源が必要という試算をしている。この金額が町民サービスに影響を及ぼすということであったが、町民サービスを出来る限り維持するために財政全体を考えている。基金の積立てについては、今年度から開始し、建設する際に活用していく。</p> <p>公共施設全体の再配置や維持管理は、公共施設再配置・町有地有効活用実施計画の中で、今後 10 年間の見通しを示しているが、今ある全ての施設を維持するということではないので、長期を見越した中で、町全体を見渡し考えていく。</p> <p>防災拠点について、地域の拠点として各集会施設等もあり、広域避難所として各学校等もある。地域集会施設は、地域の方と話し合いながら、統廃合に向けた検討をするため、地域と話し合いを始めたところである。</p>

参加者	<p>二宮町の財政が非常に厳しい中で財政の立て直しをすると公約に掲げていたが、引き継ぎの時点で庁舎の耐震化ができていないことはわかっていた。開成町は住民と対話をしながら新庁舎について検討を重ね、ようやく建設している。二宮町は急に大きな建物を建てるとは、お先真っ暗ではないか。全国的にも、財政難の市町村がたくさんある中で責任を持って新庁舎建設を進めるということだが、非常に疑問に思う。説明会で町民の意見を聞くと言いながら、説明しただけで、判断して最終的に結論を出すというプロセスが全然できていない。</p> <p>地方交付税をあてにしているが、現実はそのように甘くなく、国は地方交付税を減らしていくことになる。人口減少が著しく、産業がない中で、危機感が無いのではないか。</p>
町長	<p>阪神淡路大震災を受け、平成 8 年に現庁舎の耐震診断を実施し、耐震性が不足していることは把握していた。各時点の町長の進め方の中で、二宮町においては小中学校の耐震化を優先的に行ってきた経過もあるが、庁舎の耐震化も着手しなければならない状況であったと思っている。それは行政としての責任を感じている。その中で、庁舎整備はやらなければならない、そのタイミングが今であると感じている。本来ならば計画的に庁舎整備の基金を作り、積み立ててくるべきではあったが、それを今言っても何も始まらない。待たなしの中では、今この時にやるしかないと決断し、ご提案させていただいた。庁舎整備だけでなく、ラディアンの大規模改修や環境衛生センターの改修なども踏まえ、町債残高の計画をお示ししたが、今回の計画からも削減できるところは削減し、費用の低減を図っていく。</p> <p>説明が足りない、回数が不十分といったご意見は、分かりやすい資料の提示や説明会の追</p>

	加など、改善していきたい。
参加者	住民に対してのプロセスが短すぎる。少ない回数の中で住民に理解を求め賛否を問うなどできるわけがない。
町 長	町民に理解が行きわたっているかという点、不十分なところがあると感じている。今後も、より分かりやすく、ご理解いただけるような説明に努め、その点は改善していくが、やはり長の責任としてはそのまま放置しておくわけにはいかない課題なので、そこはご理解をいただいたうえで二宮町に合った規模の庁舎整備を責任を持って進めていくという覚悟で取り組んでいく。
参加者	二宮町の財政力指数は低く、地方交付税は二宮町がダントツで多い。地方交付税をあてにしすぎている。そういうことを念頭に置いて町の経営をしてもらわなければ町民は困る。

参加者	現庁舎を解体した後の使い道をどう考えているのか聞きたい。
事務局	現時点では具体的に決まっていないが、今後、役場庁舎、町民センター、教育委員会事務所や武道館等も含めて、一体的に考えながら検討していく。

参加者	26 億 5,000 万円の建物とは、どの程度のものができるのかがいまいち想像できない。開成町が同じように約 26 億円となっているが、イメージモデルがあれば見せてほしい。役場の耐震化をする前に学校の耐震化を優先したと言っても、校舎にブレースを入れただけ。二宮小学校の体育館の壁はベニヤ板。そのような環境で子ども達は頑張っている。役場職員の命が懸っているので大事だとは思いますが、一方で子どもたちはあまり整っていない状況で勉強している中で、役場職員は新しい建物で仕事をする。加えて、学校は耐震化しただけなのに役場は立派なものができるとなると、未来を担う子どもたちはどのように感じながら学習活動をしていくのかということがすごく心配に思う。その点どのように考えているのか。
事務局	今回基本構想・基本計画（案）でご提示した約 26 億 5,000 万円は概算の総事業費は、様々なものを含んだ金額の総額となっている。庁舎本体工事に該当する部分は 21 億 6,000 万円程度と見込んでいます。開成町は延床面積 3,900 m ² で本体工事費が約 25 億 3,000 万円になっている。開成町の 1 m ² あたりの単価が 65 万円になっており、二宮町は 45 万円です試算しているため、金額だけを見てもイメージが湧きにくいと思うが、開成町と二宮町の違いはこのような要因がある。
事務局	小中学校の耐震は平成 10 年前後から平成 15 年位にかけて改修工事を実施した。その時に耐震化と合わせて 20 年に 1 度行うリフレッシュ工事を実施している。建築後、年数が経過しているため、新築のようにはないが、二宮小学校も平成 25、26 年に校庭もあわせてリフレッシュ工事を行っている。 児童・生徒数も減っている中で、小中学校の再配置の検討を行っている。これから小中一貫教育で、9 年間を通じたより良い学習環境の研究もしているため、それに併せて学校の統合も考えていく。検討や研究の進捗状況を見ながら学校は考えていきたい。また、学習環境をさらに良くしていくため、普通教室にエアコンを設置するための準備をしている。

	これにも 4 億円掛かるが、学校の方は段階的に良くなる対応を考えているため、ご理解いただきたい。
参加者	会場には子どもも来ているし、自分の子どももこれから学校教育を受ける年齢のため、他市町村と差ができてほしくない。市町村によっては教育に力を入れていて、良い環境で学習をしている児童・生徒がいる中で、二宮町は見劣りすると感じる。いかに教育力を高めていくか質問させてもらったが、今の町の考え方が聞けたので安心した。

参加者	<p>現在の庁舎では極めて危険であるということ、95 年の阪神淡路大震災の時に感じ、当時の町長にも直接進言したことがある。もし、勤務時間中に同規模の大地震が起きた場合、現庁舎では町長以下職員の命は極めて危ないのは明白である。私が町長だったら、プレハブでもいいから即刻移転する。それくらい緊急の問題である。</p> <p>今回の新庁舎建設には、特に若い方々が大変心配している。これからは住民税を支払う世代が減っていき、その中で町の財政がどうか、多くの町民が心配になっている。町長の務めとして、町民が安心できるようにするための説明会でなければならない。安全で便利な建物が建つことに反対する人はいない。それに掛かるコストが大きいため、町民は不安に思っている。その不安を解く責務が町長にはある。</p> <p>先般の選挙で、町長は新庁舎建設をはっきりと謳って当選されたが、過半数を超える得票の他の二人の候補は新庁舎建設に反対若しくは消極的であった。選挙の結果から、町民の間では疑問符が付いていることを前提に説明をする必要がある。</p> <p>現庁舎がいけないと気付いたのは 95 年だが、それ以降の町長が庁舎建設の基金をどれだけ積んできたのか。実際にはまったく積んできていなかったことが明確になっているが、積んでこなかったことが問われなければならない。</p> <p>本日の説明、資料提示は、役場の立場で行っている。町民が今どのような不安や不満を持っているかを前提とした説明になっていない。</p> <p>町長は、教育や子育てに力を入れていくということで当選したが、限られた町の財政の中で、毎年の負担は大したことはないという趣旨の説明をしていた。今までも様々な住民からの要望に対してはお金がないと断ってきた町が、毎年数千万円の負担に対して、影響はないと言えるのか。町民の本当の疑問や不安にこたえる説明会にしてほしい。</p>
町長	ご指摘はしっかりと受け止めて、今日は用意した資料に基づき説明しているが、改善すべきところはあるので、町民の皆さんの不安を安心感に変えていきたい。様々な要望事項については、分かりやすい資料やデータを工夫してしっかりお示ししていきたい。

参加者	新庁舎を建設することによって、二宮の財政規模がそこまで重要な問題になるか把握していないが、新庁舎に防災の拠点があるということであれば、各学校が防災拠点であるため、少なくとも今回は庁舎の説明であっても、学校再編も一緒に説明した方が、同じ負担をする町民の納得感が得られるのではないかと。政策的な意見を出さずに一つひとつの事業について説明すると、それぞれ意見があり不満も出るため、ランドデザインのようなものを明示した方が良いのではないかと。
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事務局	学校については、今教育委員会が中心となり再配置の検討を進めているため、出来次第町民の方々に説明し、全体の計画やビジョンをお示ししていきたい。
-----	------------------------------------------------------------------------

参加者	<p>財政の説明をしてもらっているが、国全体の人口も減少し、若い世代が減っている中、こんな 30 年後の試算を出すのはそもそも甘いのではないか。30 年後に今の子ども達がこの負債を払い続けることになる。こんな負債を子どもに負担させたくないと思う。</p> <p>自分もずっと二宮に住んでおり、現在の役場が古い状況も分かっているし、ラディアンが出来た時は嬉しかったことも覚えている。建替えることは決して反対ではないが、今の町の財政状況を考えたときに、免震構造にお金をかけて、ここまで立派な建物を建てなければいけない理由があるのか。そんなにスピード感を重視して進めなければならない理由がわからない。もう少しスピード感を抑えて、見直す時間をとってほしい。こんな試算でうまくいくわけがないので、もう少し見直す時間が必要である。</p>
-----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

参加者	<p>この資料はコンサルタントに丸投げして作成し、町はよく理解していないのではないか。川崎市役所は、すでに工事が始まっているのに資料の中では計画中となっている。</p> <p>なぜ新庁舎ありきで考えているのか。なぜ移転しなければいけないのか。代々の町長が耐震診断を実施しているということだが、どういう業者に委託し、その結果がどうだったかを町民に知らされていない。耐震の検討をどういう業者に委託したのか教えてほしい。</p>
事務局	<p>今回のデータはコンサルタントに丸投げして作成したものではなく、川崎市役所の資料は職員が調べて作成したものである。ホームページ上計画中となっていたが、もう一度確認したい。</p> <p>耐震の件については、1 階と 2 階に課題があるという結果が出ている。細かい数値も含めて耐震診断を行うことができる専門業者で実施、報告をさせたものである。</p>
参加者	<p>なぜ、造成から建設までの一体的な工事を行った事業者に診断を依頼しないのか。小田原市は、建設事業者に委託し無料で耐震診断させて、概算費について算出させている。</p>
事務局	<p>平成 8 年に入札し耐震診断を実施している。耐震診断をすることができる業者として行っている内容であり、ご理解いただきたい。</p>

参加者	<p>町が一方向的に説明しているだけと感じている。この状態で先へ進むということには無理がある。二宮町は人口 28,000 人を切ったが、65 歳以上が 3 分の 1 を占めており、さらに増えていく。</p> <p>正直、20 年、30 年後には二宮町は無いと思っている。その辺も考え、次を担う子ども達に借金だけ残すやり方はおかしいと思うので、進めるのであれば住民投票をやるなど、きちんと民意を取ってからやってほしい。町に税金を納めているが、それが無駄になるのであれば二宮町から去らなければいけない。</p>
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

参加者	<p>町の建設事業は、昔はすべて自前ということが基本だったと思うが、自主財源で建設可能か検討したのか。平塚市は平成元年から、完成までに 20 年以上かけている。なぜ二宮町</p>
-----	-------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>は急に動き始めたのか。他の市町村がどのくらいの期間をかけて取り組んでいるのか調査しているのか。ラディアン建設は町民参画によって、町長が自ら参加していたが、ラディアンの建設費がいくらで、町民がどう一緒に作り上げたのか説明してほしい。</p>																																			
町 長	<p>ラディアン建設の際には、町民検討会などに参加し、町民として利用しやすいように細部まで要望をした。今回の新庁舎に関しても、機能面についてのご意見をいただいているところであり、次のステップに進んだ際に細かく決まるときにも、その都度ご意見をいただいでいく。今後も、町が一方向的に完成させるというような進め方はまったくしない。</p>																																			
事務局	<p>建設事業について、過去から大規模な建設事業については起債しながら事業を実施してきており、ラディアンを建設した際も起債している。</p> <p>平塚市は 20 年以上継続して検討してきたわけではなく、一度棚上げになり、この 10 年位で再度検討し、完成したという状況である。他の自治体も違いがあるが、ある程度の期間はやっている。二宮町は、近年の大地震等もふまえて、庁舎の耐震化ができていない状況を考え判断した。急というよりも、過去から課題になっていたものに対し、庁舎移転の検討を始め、現在、基本構想・基本計画（案）ができたため説明会を開催しているという流れとなっている。</p> <p>ラディアンの建設費についての資料が手元に無く明確に回答ができないため、その部分は改めてホームページや会議の記録等でお示しさせていただく。</p> <p>（ラディアンの建設費について）</p> <p>【総事業費】 3,889,860 千円</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>（工事内訳）</td> <td>用地取得費</td> <td>1,396,298 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>建設工事費</td> <td>2,192,400 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設計監理費</td> <td>120,762 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>備品購入費</td> <td>145,400 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>区域内道路整備費</td> <td>35,000 千円</td> </tr> </table> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>（財源内訳）</td> <td>県補助金</td> <td>110,000 千円</td> <td>（市町村振興補助金）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>起 債</td> <td>1,480,000 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>繰 入 金</td> <td>528,000 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>国庫補助金</td> <td>14,067 千円</td> <td>（学習活動支援設備整備）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般財源</td> <td>1,757,793 千円</td> <td></td> </tr> </table>	（工事内訳）	用地取得費	1,396,298 千円		建設工事費	2,192,400 千円		設計監理費	120,762 千円		備品購入費	145,400 千円		区域内道路整備費	35,000 千円	（財源内訳）	県補助金	110,000 千円	（市町村振興補助金）		起 債	1,480,000 千円			繰 入 金	528,000 千円			国庫補助金	14,067 千円	（学習活動支援設備整備）		一般財源	1,757,793 千円	
（工事内訳）	用地取得費	1,396,298 千円																																		
	建設工事費	2,192,400 千円																																		
	設計監理費	120,762 千円																																		
	備品購入費	145,400 千円																																		
	区域内道路整備費	35,000 千円																																		
（財源内訳）	県補助金	110,000 千円	（市町村振興補助金）																																	
	起 債	1,480,000 千円																																		
	繰 入 金	528,000 千円																																		
	国庫補助金	14,067 千円	（学習活動支援設備整備）																																	
	一般財源	1,757,793 千円																																		

参加者	<p>庁舎に関して、コストを掛けても最も安全なものを建設したいという考えがあるのか。</p>
事務局	<p>現時点では安全・安心な庁舎ということで、一番コストの高い免震構造を採用することを計画としている。</p>
参加者	<p>免震ありきの流れになっていると感じた。耐震でも免震でも、大地震が起きた時にはどちらでも壊れるのだと読み取れる。コストに関して、免震構造が 1.10～1.15 倍と書かれて</p>

	<p>いるが、実際の概算床面積単価は 1.5 倍になっている。コストを掛ければ安全性が上がるわけではなく、コストと効果の検討はしたのか。</p> <p>地盤の軟弱な場所に免震構造の建物を建てるよりも、地盤の強固な場所に耐震構造の建物を建てた方が、トータル的に安全なのではないか。もっと幅広く考えてもらいたい。皆コスト面が気になっているので、免震構造に決めつけるのではなく、耐震構造、免震構造がどう安全性が保たれているのかを明示しないといけないのではないか。</p>
事務局	その点については、十分に検討していきたい。

参加者	<p>原材料費の高騰もあるため、1 割程度増えることは不思議ではないが、床面積単価が 30 万円だったのが、床面積単価 45 万円と 50%も増えた。</p>
町 長	<p>昨年の時点では耐震構造を基準に計算していた。その後、近隣の状況なども含めて検討した結果、本日資料としてお示した。基本構想・基本計画（案）では安全性を求めて免震構造による建設事例から平均値を採用し試算をしたが、いろいろな方から耐震でもいいといったご意見もあったことから、責任を持って調査し、お示ししていきたい。</p>
参加者	<p>町民検討会でも免震の必要性が話題になったが、判断する資料が無かった。この問題は住民投票にかけていただき、町民の皆で一緒に考えていきたい。</p>
事務局	<p>補足になるが、町民検討会で資料が提出されていないと指摘があったが、本日配布している資料は説明会用の資料のため、町民検討会ではお示ししていない。資料の内容は、基本構想・基本計画（案）に記載されているものであるため、会議の中でお示ししている。</p> <p>床面積単価については、あくまでも近隣自治体が庁舎を建替えたときの単価であり、設計をして算出しているものではないので、ご理解いただいたうえで、床面積単価が正しいかどうかは、どのような庁舎を建設するかによって変わってくると考えている。</p>

参加者	<p>建物を建てるのに、競争入札制度を導入して業者を決めたのか。</p> <p>あと 1 回しかない説明会を経て結論を得るわけだが、このままだと町民は消化不良である。</p>
事務局	<p>建設に関してはこれからなので、何も決まっていない。今回の基本構想・基本計画（案）の策定に関しては、一般競争入札において決定した。今後、基本設計、実施設計、建設工事に入って行く段階では、競争入札やプロポーザルなどを実施し業者決定をしていくことになる。</p>

参加者	<p>1 回目の説明会の中で、公共施設再配置の全体ビジョンを明らかにした中で庁舎建設について説明すると言っていたが、再配置の実施計画は策定済みという説明があっただけである。町民は、どう進んでいくか分からないため、そこが説明に足りていなかった。</p> <p>現庁舎の耐震診断結果について、町民にまったく周知されておらず、庁舎に問題があるのであれば、施工業者が無料で修繕するのが当たり前だと思う。そういったことも全然検討しないで、他の自治体が免震構造にしているから二宮町も採用するという事は、無謀なのではないか。</p>
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>また、新庁舎が防災拠点と言っているが、新庁舎が建った時にどれだけ防災上のメリットがあるのか。</p> <p>先程、基金を積み立てると言っていたが、今まで基金を積み立てていない以上、積み立てるために一般財源から拠出し、それを投資するだけなので、結局は一般財源を圧迫している。町民が理解できるようにきちんと説明してほしい。新庁舎がまちづくり、防災の拠点と言っているのなら、町全体の中で本当に拠点になるのかを示してほしい。</p>
事務局	<p>資料については、皆さんからご指摘いただいたように町民の方が不安に思っている点や疑問に思っている点が分かりやすいような説明に今後努めていきたい。</p>

参加者	<p>公共事業の建築はとてもマネジメントが難しいものというイメージがあり、国が実施するものでも予算を上回ることが多いと思うが、誰がどのようにコントロールしていくのか。現時点で上限の金額を考えているのであれば教えてほしい。</p>
事務局	<p>現時点で上限額は決まっていない。どのような建物が出来るか設計して積み上げていくので、どのような機能を取り入れるかによって計算していかなければいけないということである。いただいている様々なご意見をどこまで組み込むことができるかを判断しながら進めて行くことになるため、極力町の財政を圧迫しないような形で、調整をしていくことになる。</p>

事務局	<p>説明が不十分なところや資料が分かりにくいということで反省点は多々あるが、今後基本設計へ進んでいくうえでは、様々な場面で町民の方のご意見を伺う機会を設けていきたい。</p>
-----	------------------------------------------------------------------------------------------

新庁舎建設町民説明会 要旨

日 時 平成 31 年 2 月 17 日（日） 10：00～12：35
 場 所 山西小学校 体育館
 参加者 49 名
 町 村田町長、府川副町長、黒石政策担当参事
 事務局 企画政策課 4 名

概要

1. 開 会
2. 町長あいさつ
3. 二宮町役場新庁舎建設基本構想・基本計画（案）の説明
4. 質疑

参加者	<p>財政に不安がある中で、例えば学校やこれから空いていく施設を利用する考えがあるのか。空き教室もある中で、町民センター機能は体育館を利用することもできる。新しいものを造るのではなく、既存のものを活用する計画はないのか。</p> <p>役場より古い百合が丘保育園の話は一切出ていない。施設の修繕を繰り返して利用しているが、保育園を新庁舎に入れる考えがあるのか。</p>
事務局	<p>学校の統廃合については、現在教育委員会で検討しており、来年度以降、保護者に対して説明をしていく。庁舎は、大規模災害に備えてスピード感を持って進めている。</p> <p>公共施設再配置実施計画で、町民センターも課題と捉えており、学校の統廃合を見据え、廃止になる学校があれば、リノベーションし機能移転していく。</p> <p>百合が丘保育園の老朽化は課題として捉えているが、耐震化は実施したため、安全性は確保されている。現時点では新庁舎に保育園を組み込むことは検討していない。</p>

参加者	<p>建設費に関して、2月の広報を見ると床面積単価 45 万円となっている。面積は約 10% 増えているのに対して、㎡単価は 50% 増えている。アンケート結果に基づいて免震構造にしたとあるが、免震構造にすることによって 10～15% のコスト増となると資料にある。免震構造だけで床面積単価が 50% も上がるはずはない。何に基づいて算出したのか。なぜ安い単価を取らずに平均を取るのか。</p>
事務局	<p>45 万円の根拠について、近年免震構造で建替えをした庁舎の㎡単価の平均で示している。具体的な設備などを決めて積算したものではないため、45 万円は、あくまで概算事業費を算出するため設定したもの。</p>
参加者	<p>町民は何に基づいて判断すればよいのか。我々が家を建てる場合、貯蓄額、返済可能額を</p>

	<p>基にローン額を設定する。それと同様に建設費を決めていくべきではないか。町が返済できる額で建物を造るのが考え方ではないのか。免震装置の補修費やメンテナンスコストは高額になるため、3階建ての庁舎で意味がどれだけあるのか疑問である。アンケートも、免震構造にしてほしいという回答ではなく大きな間違いである。</p>
事務局	<p>全体の予算は、どのような建物かによって変わるものであり、財政も含めて金額については計算をしていく。</p> <p>今回、免震構造でお示ししているが、皆さんのご意見をふまえて、しっかり検討し、判断していきたい。</p>

参加者	<p>広報にのみや2月号と今回の説明会の資料では内容が変わっていないが、どちらも免震構造を採用する前提に見受けられる。まずは地質調査を行って支持層までの深度や液状化の可能性等を調査するべき。その結果と合わせて建物の階層なども踏まえ、耐震構造か免震構造の判断がなされるべきだと考える。免震構造ありきで計画が進められている。建物の規模や高さ等を考慮し、どの工法を採用するか、具体的に示したうえで説明会を開催してほしい。</p> <p>現庁舎の耐震性が不足していることは理解しており、建替えることは決してやぶさかではなく、住民としてもお願いしたいと思うが、庁舎や学校も含めた駅前再開発について、将来この一帯をどう考えているのか検討したうえで町民説明会を開催してほしい。</p>
事務局	<p>地質調査に関しては、後年度に予定しているが、建設予定地は、過去に神奈川県住宅供給公社がケア付き高齢者住宅を予定した際に実施した地質調査結果があり、支持層は10～15mの深度で確保できるというデータもある。ただし、建設する建物が変われば杭の打ち方等も変わってくるため、新庁舎を建設するための地質調査は実施する予定。また、液状化も、過去の調査結果により、しないことは確認済みである。</p> <p>新庁舎の階数は、現時点では3階程度を予定しており、15mの高さ制限が設けられているが、3階建ての建物であれば問題ない。</p> <p>新庁舎へ移転後の現庁舎の利用方法については、町民センターや武道館と一体的に考えるが、早急に考えるべきというご意見として捉えさせていただく。</p> <p>今回の説明会については、新庁舎建設基本構想・基本計画(案)ができたため、町民の皆さんに説明をさせていただくことを目的としていたが、次の基本設計に進んでいく段階でも、いろいろな形でご意見を伺いながら進めていきたい。今回の説明会だけがご意見を伺う場というわけではなく、今後も丁寧に実施していきたい。</p>
参加者	<p>新庁舎の階層は3階程度としか考えていないということであれば、免震構造は無駄。耐震構造で十分対応可能である。</p> <p>過去のデータは確かに参考にはなるが、現在計画しているところで地質調査を実施し、地盤の確認をする必要がある。事業全体の見直しを考え、そのうえで町民説明会を実施してほしい。</p>
事務局	<p>いただいたご意見は今後の参考にさせていただきたい。説明会についても、もう少し具体的な内容までを検討したうえで今後の実施を考えていきたい。</p>

参加者	<p>もともと学校の耐震化を優先してきたと書かれていたが、学校は建替えておらず、耐震化のみとなっている。役場も学校と同じような耐震改修でいいのではなか。</p> <p>ハザードマップ上で災害については既に想定されているため、災害が発生した時には想定外という言葉では言い逃れできない。庁舎建設地としては不適切なのではないか。</p> <p>高度情報化社会への対応について書かれているが、今後町民が町役場に来なければ受けられないサービスなどは無くなっていく。その状態でこのようなハード面が必要なのか。新しい建物を建てなくても十分対応できる。</p>
事務局	<p>現庁舎の耐震改修の可能性は昨年の調査の中でも検討した。現状でも狭い中での執務になっており、耐震改修を実施した場合には執務スペースが更に限定されてしまい、今まで以上に行政機能を分散化しなければならなくなってしまう。</p> <p>町民の方が役場に来なくても用事が済む時代が来るのではないかとすることは、しばらく時間がかかるのではないかと想像しているが、現時点で坂を登ってくるのが非常に大変だというご意見も過去からいただいている中で、耐震性や立地の問題を総合的に勘案し、庁舎の移転を決めたというのが昨年度の調査結果である。</p> <p>ハザードマップの問題は、町営第一駐車場は浸水想定1m未満の区域となっていることは承知している。これは1時間あたり94mmの降雨があった場合に葛川が越水してくるということで想定されている。葛川の河川整備を神奈川県に要望していくことと合わせて、1mの浸水を想定しながら、建物自体を嵩上げしていくことで、対応した庁舎としていく。</p>
参加者	引き続き検討をお願いします。

参加者	今回の計画で調整池に駐車場の配置となっているがテニスコートはどうするのか。
事務局	現時点では、テニスコートについては移設ではなく廃止することを検討している。
参加者	位置的にはすごくいい場所にあり、有効的に使っている。健康増進やスポーツ振興の面で、子ども達のレクリエーションにもなるため、廃止には納得いかない。納得できるような明確な理由を説明してもらいたい。
事務局	現時点では廃止という考えをお示ししたが、ご意見を伺いながら考えていきたい。明確な廃止の理由というよりもこの先に検討させていただきたい。

参加者	<p>地方債の返済について、事業費に対し75%は借金という説明だったが、町債の残債総額が70億円あり、それが95億円にまで増えるとなっている。借金の返済について、どういう手法で返済することを考えているのか。借金をすることはやむを得ないとしても、町の遊休地を売却し財源に充てることや、優良企業を誘致することで法人税収を確保すること、企業が来れば地元町民の雇用対策の一助にもなるのではないかと。依存財源だけに頼るばかりではなく、依存財源を縮減していくために身を削ることも必要ではないか。遊休地を売却することを提案すると町民の皆さんは反対するが、財源が必要なこの時期に、こういう手法で一部の財源を確保するとなれば、比較的に理解する方が多くいるのではないかと。今がチャンスだと思う。</p>
-----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事務局	町には様々な財産があり、土地もある。依存財源だけをあてにするのではなく、今あるものを有効活用し、売却や貸付など財源を生む方法を考えながら、借入償還をしていかなければならないため、負担が軽くなるように検討していきたい。
参加者	建設費の償還について、町債を発行してから5年間で5億円ずつで推移するようなグラフとなっているように見えるが間違いではないか。
事務局	庁舎建設に係る町債については、30年償還で計算した場合毎年7,000万円の償還となり少しずつ減少していることを示したものである。5億円ずつで推移しているものではないということで確認していただきたい。

参加者	<p>この説明会には3回全てに参加しており、町民の皆は多額の借金をすることで財政的にも不安があると言いつけているのに、町側はこの部分について答えていない。30年後の生産人口は今の半分になることは、この2倍に感じるようになる。</p> <p>庁舎建設に関して、防災拠点と言っているが、財政は住民福祉、増進のためにあると地方自治法にも書かれているのに、繋がりがわからない。財政は町の考え方が一番出るところだ。防災拠点と言っているが、どういった考え方があって、これを最優先にしなければいけないのか答えていただきたい。ハザードマップで不安があると示されており、7年前には実際に避難した方もいた。実際にあの場所が、本当に住民が喜ぶ安全の拠点になるのか。アンケート結果では、新庁舎に求めるものとして避難場所や備蓄倉庫を確保してほしいと言っていることに対し、それについての説明が全然ないということもおかしい。本当にまちづくりの拠点、防災の拠点にするために最優先にするのであれば、そこをはっきりとどういう理由で、どういう考え方で、最初に進めなければいけないという説明をしていただきたい。</p>
町長	<p>行政の責任としてやらねばならないことを後回しにしてきたと思っている。その責任を感じ、今回ご提案させていただいた。</p> <p>現庁舎の耐震補強についても検討したが、耐震補強をする場合でも多額の費用を要し、今より更にスペースが狭くなってしまうことで、第2庁舎などを新設しなければ行政サービスを維持できない状況になってしまう調査結果が出ている。そのうえで、方法を検討し、移転の方針をお示した。現庁舎の耐震性不足は、阪神淡路大震災の後に実施した耐震診断の結果で指摘されていたが、学校の耐震化を優先的に進めてきたこともあり、この時点まで後回しになってしまった。それと共に、多額の費用が掛かる事業であるため、なかなか進めることが困難であり、その時々首長が後回しにしてきてしまった経過はある。このまま放っておくわけにはいかない状況であり、移転をして、今後の職員数の減少などもふまえた最低限度の庁舎としていきたい。また、今までできていなかったこととして、庁舎整備のための基金を計画的に積んでこなかったことがあり、行政の責任として、代表して反省している。これまでの何十年間で積み立ててこなかったことに町として瑕疵があると思っている。</p> <p>ハザードマップについても当然承知しているため、危険性がないように配慮したうえで庁舎整備を実施してく。今回の基本構想・基本計画(案)では近年免震構造で庁舎の建替</p>

	<p>えをした自治体の平均値として 45 万円の床面積単価により概算事業費を算出しているが、今後も検討していきたい。いずれにしろ、ずっと後回しになってきたものをいずれ誰かがやらなければならないということで今回ご提案させていただいた。ただ、将来に向けて町が何もできなくなる財政計画で進めるつもりはないので、今後しっかり練っていかなければならない。</p>
参加者	<p>まちづくりの拠点、防災の拠点とは、今後こういう考え方でまちづくりを進めて行く、という考えがあるから言っているのではないのか。緊急性があるのであれば避難措置としてプレハブを建て、その中で行うことも可能ではないのか。</p> <p>東大果樹園跡地にしても年間貸し付けていたし、ラディアン裏の土地を 22 億円で購入したため、東大果樹園跡地の購入時には起債制限にかかる可能性があったために、4 億 5,000 万円を現金で支払いをした。そういうデータがある町で、今後、新庁舎整備を最優先で行うことをどのように考えているのかを示してほしい。</p>
町長	<p>防災の拠点が新庁舎だけということではないが、災害が発生した直後からの対策、復旧に向けての対策を指揮する拠点として機能しなくなってしまえば、様々な対応に遅れが出てしまうことが、近年の災害による被災状況を見ると如実に分かる。もちろん各地域の拠点に備蓄品や器具なども置かせてもらい、それぞれで防災計画はあるが、だからといって役場が潰れるかもしれない状態のまま放っておいていいという議論にはならない。</p> <p>将来に向けての負担は、過度になるようなことがないよう十分に考え、町が立ち行かなくなるような計画を立てるつもりはない。また、一時的にプレハブを建てるということについては、そうするためにも相当額の費用が掛かり、二重投資となってしまいうということもふまえた中で、市町村役場機能緊急保全事業を活用しながら、無理のない範囲において新庁舎の整備を決断させていただいた。</p>

参加者	<p>今の状況だと、新庁舎を建てることが決まっているような説明会だと感じる。基本設計をするにあたり公設直営方式で進めて行くとあり、一番スピード感を持って進められる方式だと思うが、基本設計の依頼の仕方にも様々な方法がある。その辺の進め方を現在どのように考えているのか。</p> <p>現在オリンピックなどでも公共建築の金額が見込んでいたものよりも上がるということが分かっていて、先程の平均値 45 万円も、実際にはもっと上がるのではないかと思っている。先に進んで後戻りができない状況になった時に単価が上がってしまった場合はどのように対応するのか、現時点で考えているか。</p>
事務局	<p>現時点では、従来方式で、基本設計、実施設計は別々に発注することを考えている。町が契約する場合、入札が一般的であるが、最近ではプロポーザル方式として事業者へ提案をさせる方式も行っているため、発注方法についてはまだ確定していない。プロポーザル方式も念頭に置きながら考えていきたい。</p> <p>金額については、今後どういう機能や設備を導入し、どんな建物になるかが決まっていく段階で、ある程度の金額が出てくるので、その時点で取捨選択できるように、皆さんにお示ししながら全体の費用についても説明させていただきたい。</p>

参加者	具体的に何も決まっていない状況だと思うが、平成 32 年度に実施設計というスピード感でいくと、時間が足りない。現時点で設計事務所も決っていない状況の中で、1 年でそこまで進捗するという見込みはある程度立っているのか。
事務局	今回の説明会やその他でも様々なご意見を伺っていることをふまえると、平成 31 年度中に基本設計が終わらないという可能性は十分あると考えており、今後、説明をしながら少し後ろにずれていくことも考えていかなければならない。基本設計をふまえて実施設計を行うため、例えば実施設計が平成 32 年度の後半になっていくことも考えられる。市町村役場機能緊急保全事業については、平成 32 年度中に実施設計に着手したものが対象となるという条件があるため、平成 32 年度中の実施設計への着手は町も進めていきたい。

参加者	<p>町長の新庁舎の必要性の説明は何度も聞いているが、町民はそういうことを問うているのではない。新庁舎が必要と提案され、具体的に基本構想・基本計画（案）が示されたことで町民の意見を聞く。そうやって庁舎だけが突っ走っていいのだろうか。町民センターはしばらくそのままと言うのが安全性は大丈夫か。地域集会施設はどうなるのか。トータルで町を考える時期であり、新庁舎の必要性について町民も納得したいと思っているはずである。新庁舎を整備したいという想いと、有利な交付税措置に間に合わせたいという想いが鮮明になってきたが、それでいいのだろうかという意見が出ている。</p> <p>オリンピック前後の材料費の高騰、人員確保が困難な状況は分かっているのにシミュレーションをしておらず、事業費が高くなったらその時に考えるという計画では町民は納得しない。その説明をきちんとするべき。どのタイミングでどう検討し、どのように皆の意見を反映させてものを作るのか、まったくイメージが湧かない。これだけの大きな事業でこれだけの町債を抱え、まだまだやるとこがたくさんある中で、それでもなんとかなるから庁舎だけを整備するというだけでは、町民は納得しない。納得できる説明をしてほしい。納得できる計画を立ててほしいということをお願いしているだけである。</p>
町 長	<p>町の公共施設再配置の計画はあり、学校の統廃合の計画についても現在動いている。その計画に基づいて進めていくことになるが、一つひとつ安全性を確保するため、将来に有効な公共施設を使っていくため、また、学校施設についても、子ども達が学習し育っていくため、現在は並行しながら進めている。</p> <p>町としては、一つひとつの案を作り、それをお示しして議論していただいている。なかなか全てをご理解いただけていないとは思いますが、今までの公共施設再配置の計画も都度お示ししながら進めてきた。他の施設を後回しにしているわけでもなく、学校施設も考えながら進めているので、この時間で全てを説明しきることはできないが、本日は新庁舎建設基本構想・基本計画（案）についてご理解いただきたいということで説明会を開催させていただいた。その中で、町民の皆さんが疑問や不安に思っている部分をしっかりと受け止めて、今後基本設計に入っていく際にも、皆さんの声を盛り込みながら進めていかなければならない。ただ、現庁舎の現状として、白紙に戻すという時期ではない状況まできているので、行政の責任として確実に前に進んでいかなければならない。今後は、公共施設再配置・町有地有効活用実施計画を含めて説明しながら進めていきたい。</p>

参加者	今の説明でいくと、これだけ意見や疑問が出ている中で、町が計画しているとおりの基本構想・基本計画（案）は3月末で（案）を取り、進めるということか。
町長	もちろん精査しなければならない部分はあるが、いただいたご意見を基に修正しながら改めてお示しし、基本構想・基本計画を策定したいと考えている。その中で、検討しなければならない課題もいただいているので、基本設計の中でも専門家の意見を聞きながら引き続きしっかりと精査し、検討を進めていく。そういうことを含めて、次へつなげていきたいと思っているが、基本設計に進んだとしても、途中で説明し、ご意見をいただくというプロセスをしっかりと考えながら進めていきたい。
参加者	基本構想・基本計画（案）で提案されている建物構造が免震となっているが、検討の結果、耐震になった場合、計画案は変わることになる。そういうことであれば計画は決定できないのではないか。
事務局	今回基本計画（案）の中で様々お示ししているが、この説明会を含め、町民検討会やパブリックコメントを実施した中で、免震が本当に必要なのかといったご意見が多々ある。今この時点で免震なのか耐震なのかを決定するのではなく、しっかりとしたデータの裏付けをもって検討していくということで基本計画を修正することも考えられる。それをいつ決定するのかは、基本設計の中で、比較検討の結果が分かる状態で最終的に判断することも考えている。様々なご意見をいただいた中では、基本構想・基本計画の段階で免震と耐震のどちらにするということは決められないと思っているため、決定は基本設計に委ねていくということが今の考え方である。

参加者	町民アンケート調査結果で、新庁舎に求めるもの、重要視するものの1番に防災の拠点として安全・安心であることとなっているが、実際に災害が発生した時には庁舎は防災拠点にはならない。実際に活動するのは、各地域の集会施設が拠点となるが、一部施設では耐震基準を満たしていない。やっていることの順番が逆ではないか。こういうこともあるので、庁舎問題については住民投票で賛否をとってもらいたい。
町長	各地域集会施設の老朽化や耐震基準を満たしていない施設があることもしっかりと課題として捉えている。地域の再編とあわせ、4月以降には各地域と話し合いながら進めていきたい。施設を一度に整備するというは無理であるが、老朽化が激しいところ、現状のままでは厳しい施設は把握しているので、一つひとつしっかりと考えていきたい。それと並行して、役場庁舎の問題をこのままにしておくわけにはいかないなので、無理のない庁舎整備を進めていきたい。

参加者	新庁舎建設予定地は町内でも軟弱な地盤であるということ。何年も前に見た時、ラディアン周辺の地面は波打っていた。やはりいくつかの地震や水害を考えると、望ましくない。平成34年度にはラディアンの大規模改修が予定されていることも、その原因ではないか。そういう部分でも町民にどのような負担が掛かるのか不安なため、もっと寄りそった形での提案を求めたい。 今年の3月末で東大果樹園跡地が貸出期間を終えて町に戻るが、協議会にもコンサルタ
-----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>ントが関わっていて、東大果樹園跡地で利益を生むことができるのではないかという話も出ている。現在活動している団体が無料で使用しているが、今後は利用料を支払う方向になっていると伺った。子ども達の団体や、高齢の方が入っているサークルなどからお金を取る一方で、何十億円も借金をしていくというお金の使い方に不安を感じる。子ども達を育てていき、高齢の方も安心して暮らしていけるような町にしてほしい。こういう不安を覚えるようなお金の使い方は避けていただきたい。様々な意見がある中でスピード感を重視するのではなく、立ち止まる勇気も持ってほしい。</p>
事務局	<p>地盤は、過去に実施した地質調査の結果では、支持層が 10～15mのところにあると確認ができているため、表面的に軟弱という部分はあるかもしれないが、問題ないと認識している。実際に新庁舎を建設する際には、改めてしっかりと地質調査を実施する。</p>
町長	<p>ラディアン奥側のタイルが盛り上がっているところは承知している。あれは地盤ではなく建物に起因して起こっていることである。ラディアンの大規模改修は、建築年数が 20 年を経過しているため、外壁や内部の機器類を主としたものをご理解いただきたい。庁舎は、後の世代に過度な負担となるようなものをつくるつもりはないので、慎重に検討していきたい。</p> <p>いろいろな費用対効果を比較した中で今回の方針をお示ししたという状況もある。今後手続きはいろいろな場所でできる世の中になっていくとは思いますが、一方で相談をお受けする場として、ワンストップサービスを希望するご意見もある中では、今の状況は不便である。今後も改善点は出てくるが、受け止めながら庁舎整備を考えていきたい。</p>

参加者	<p>私は新庁舎への移転は賛成である。財政が問題なければ移転した方がよい。町長以下、役場職員は町が破綻するようなことは計画しないと思うので、それを信じて賛成する。ただ、調査費として 1 億円程の埋蔵文化財や地質調査がこんなに掛かるのかは疑問である。あと、人口が減少している中で、どうしたら増やすことができるかを考えると、工場を二宮町に誘致することは難しい。駅前の都市計画をきちんとしてもらい、整備して若い世代が住みたいと思えるようなまちづくりをして人口を増やしていくように総合的に考えるべきである。電車で東京へ出るにも 1 時間以上掛かるが、自分が通勤していた時からちっとも縮まっていない。JR と相談して少しでも縮めるようにするなどして、住みやすい町にすれば、環境が良い町なので人口は少しずつでも増えていくのではないかと。新庁舎については、いつかはやらなければならないので、町が破綻しないように実行してもらえればそれでいい。</p>
町長	<p>ご意見として受け止めさせていただく。</p>

町長	<p>先程の東大果樹園跡地の件について回答が漏れていたが、4 月からはこれまで活動されていた皆さんで運営組織を作り、管理運営をしていくようになるが、そこで利益を得ようという考えではなく、運営するための整備や草刈りなどの必要経費について、全てを税金で賄うのではなく、適正なある一定の負担をしていただきながら運営していくためのものである。</p>
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

参加者	たしかにそれぞれが別物であるということは理解した。利用料は適正に徴収していくことは正しいかもしれないが、守られるべき子ども達の活動に、無料で使用できる東大果樹園跡地を配慮してもらえたことが大変ありがたかった。子ども達の体力づくりや高齢の方の健康増進は大事なことであり、そこから町として発展していく。せっかく活動してきた場所も、どういった経緯があったかなど、町民に対して周知が足りていない。大きい市や県とは違い小さい町なので、いろいろなことを見て、聞いていってほしい。
-----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

参加者	<p>市町村役場機能緊急保全事業について、20年償還の場合には年間3,000万円の交付税措置が受けられるということだが、20年間で6億円の交付税を得るためにどれだけものを失うかということも考えてもらいたい。財政のことやハード面についてたくさんの意見が出たが、無理なやり方をすると町民の気持ちが離れると思う。</p> <p>新庁舎がまちづくりの拠点、防災の拠点になると言っていて、新しいものができたら働いている人の気持ちも一新することになるのか。現庁舎にいても変えられることはたくさんあり、今のままでもワンストップサービスはできる。</p> <p>司令塔を作ることが重要なのではなく、同時並行でいろいろな施策ができていないといけな。町は潰れないと参加者が言っていたが、財政見通しを見ると今後ずっと臨時財政対策債をたてると書いてある。町は臨時財政対策債については交付税に算入される部分があるかもしれないが、大局的に見ると全部若い世代の負担になるということである。安易な財政計画は本当に避けたい。昨日からの説明会でもいろいろなアイデアが出ていたので、ゆっくり考えていけば良い計画ができていくと思う。見直すことや立ち止まって考えることもやっていただきたい。</p>
-----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

参加者	<p>昨日からの全ての説明会でのやりとりを聞いていて感じることは、防災も含めた他の施設のことやまちづくりのビジョンなど、大きな内容の質問に対して、論点がずれている。そのずれに気付いていないのであれば、まちづくりを本気で考えている町民の気持ちが伝わっていないと思え、すごく悲しいことである。</p> <p>他の施設のことやまちづくりについて、この場では説明しきれないと言っており、確かに各施設の個別の部分については話しきれないと思うが、こういう町にしたいというビジョンはいつでも話せるのではないのか。その熱い想いをぜひ聞かせてもらいたい。</p>
町長	<p>現在も未来を担う子ども達のために様々なことを行っており、個人の幸せはそれぞれあると思うが、この二宮町の中で、それぞれの立場の中で暮らしていくうえで実感でき、町が将来にわたって持続可能な、住んでいる方が安心して暮らせるようなまちづくりを、一つひとつ優先順位を付けながら進めていく責任がある。</p> <p>一方では想定できない部分であったとしても、災害も無視することはできないので、安心感を持ってもらえるようなまちづくりを進めていく責任を感じ、今回の新庁舎整備や公共施設の再配置、学校の統廃合を、将来にわたっての計画をしっかりと示しながら、できるところを着実に実行していきたいということに尽きる。</p>

参加者	<p>特に子どもを抱えている母親としては負債に関してはこの先すごく不安である。</p> <p>スポーツに関しても、テニスコートや東大果樹園跡地の話もあったが、子ども達がスポーツをすることができる環境を作ってもらいたい。また、現庁舎は坂の上で利用しにくいということもあって平地のラディアン周辺を検討していると思うが、介護が必要な方、要支援で生活されている方は平地でも歩けない方がいる。そういう想定サービスも検討した方がよい。現在の計画地に建設するのであれば、水害に関してもそうだが、土砂災害についてもデータを示していただきたい。概算事業費の内、解体工事はどこの解体を指しているのかが分からないので説明願いたい。町民センターや現庁舎を残すのであれば、どのように活用するのも検討していただきたい。</p>
事務局	<p>解体工事に関しては、現庁舎の解体工事を指している。先程の説明の中でも触れているが、現庁舎、町民センター、武道館などを一体的に考えるべきであるということで、今後の利用方法については考えていきたい。</p>

参加者①	<p>今まで話を聞いていて、新庁舎反対という意見もあればラディアン周辺に建設すべきという町民の声もあると思う。現庁舎は、平成8年の耐震診断を実施した時に、大地震には耐えられないという結果が出ており、現庁舎を存続していくには無理がある。これは村田町長以前の町政の時から大きな課題である。</p> <p>国立小児病院跡地にしても、15年前に購入しておいて未だに計画がなされていない。東大果樹園跡地を購入したのはいいが、目的のものは実っていない。</p> <p>庁舎のアンケートの結果では、防災上の機能を重要視することが求められており、今後30年の内に80%の確率で大地震が発生すると予測される中で、町の災害対策本部の機能を確保しないと、各地区において指令が取れず、町民の安全・安心は保てない。各地区では、自助はもとより共助の面において、防災に相当力を入れているが、町と一体となって災害に対して準備をしないといけない。</p> <p>東大果樹園跡地を利用する団体は、財政が厳しい状況においては受益者負担という考えが無ければいけない。将来的に人口減少が進み、2040年には生産人口と65歳以上の高齢人口がだいたい50%ずつとなってくると想定されているが、その辺は町も財政上十分検討しているため、新庁舎の整備は進めていってもらいたい。ただ、お願いしたいことは、これから財源が無い中で地域活動の補助金等は、十分精査して進めてほしい。</p>
参加者②	<p>意見ではなく、訂正を求める。東大果樹園跡地の受益者負担を図ってほしいと言っているが、そうではなく、あの土地は将来的に住民組織で管理運営し、資金も捻出しなければならない。そのため、利用者から利用料を徴収しないとやっていけないという現状がある。他の施設等が受益者負担といって利用料を徴収しているものとは全然違う。今利用している人達は熱い想いを持って利用しており、この場所が無くなってしまっただけでは困るから維持したいということで、今後自分たちで東大果樹園跡地からお金を生み出しながら維持管理していけるように、企画政策課の職員とも一緒になって様々な知恵を絞りながらやっている。それを受益者負担でやるからというような言い方をされたら非常に頭にくるので、そこは訂正してほしい。</p>

参加者①	<p>受益者負担ということは訂正する。将来町が東大果樹園跡地について計画的な要素をもっていないということであれば、今後運営していく方たちで、十分その考えを生み出していただきたい。今後は、未利用地については売却することもひとつの決断だと思っているので、その辺も進めて検討してもらいたい。</p>
事務局	<p>ご意見として承る。</p>

副町長	<p>有意義なご意見をたくさんいただいた。今後、町として、町民検討会でのご意見、町民説明会での皆さんのご意見、3月には議会特別委員会が開催されるため、それらの意見を十分ふまえて基本構想・基本計画（案）を修正し、基本設計の前には、また町民の皆さんに説明会を開催することを計画している。今後とも建設的なご意見、ご協力をお願いしたい。</p>
-----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------